

取扱説明書 <基本編> ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-4TS204

安全上のご注意
ご使用前に必ずお読みください。
(3～6ページ)

接続と設定を行う
(10～19ページ)

メディア情報・画面説明 ▶ 20
ページ

視聴・録画 ▶ 24
ページ

再生・ダビング ▶ 30
ページ

便利機能 ▶ 32
ページ

必要なとき ▶ 34
ページ



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

詳しい使い方は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。
Web サイトからダウンロードしてお読みください。

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)のダウンロード

<https://panasonic.jp/support/av/diga826/>

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を閲覧・印刷するには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。(2024年9月現在)

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>



つながり方サポート

接続方法は、こちらでも
詳しくお知らせしています。



<https://panasonic.jp/support/av/diga708/>

- 本書内で参照していただくページを(→○○)で示しています。

保証書別添付

ご案内

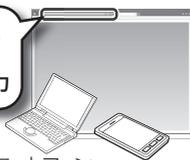
BS4K/110度CS4K 放送について

- 従来のBS・110度CS放送の右旋円偏波の電波で放送される4K放送とBS・110度CSの左旋円偏波の電波で放送される4K放送があります。(本機では8K放送は受信できません)
- 本書では「4K放送」と表現しています。

当社ホームページとサポートサイトのご案内

本機を使用していただくための情報を掲載しています。

ブラウザのアドレスバーに
diga.jp と入力



お持ちのパソコンまたはスマートフォンからご覧ください。



スマートフォンの場合は、左記のQRコードからご覧いただけます。

ホームページの内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

当社ホームページ内のサポートサイトでは以下の情報を掲載しています。

- 「よくあるご質問」：
困ったときはこちらをご確認ください。
- 動作確認情報
- スマートフォンのアプリ情報
- ソフトウェアのダウンロード情報
- 取扱説明書 活用ガイド：
PDF形式のデータをダウンロードできます。
など

サポート情報は以下のアドレスからもご確認ください。
<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>



どこでもディーガ

- ①本機で録画した番組・取り込んだ音楽・写真・動画をスマホやタブレットで視聴できる
- ②スマホやタブレットで撮った写真・動画を「ディーガ」に送れる
- ③離れて暮らす家族の「ディーガ」にスマホやタブレットから写真や動画を送れる

視聴アプリ「どこでもディーガ（無料）」のダウンロードが必要です。
ダウンロード・どこでもディーガに関する詳細は下記ホームページまたはQRコードよりアクセスください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

【記載内容】

- ・ディーガ本体対応機器一覧
- ・設定・準備手順について
- ・FAQ（よくあるご質問）

「どこでもディーガ」の登録・設定には、スマホやタブレットとディーガ本体とを同じ宅内ネットワーク上で接続する必要があります。



電源 [切] 時の動作について

本機は、電源 [切] の状態でも、録画や番組表データの蓄積など内部で動作していることがあります。本体の上面や底面などが熱くなることがありますが、本機の性能・品質には問題ありません。

SSSSS

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

●煙が出たり、異常なおいいや音がする
●映像や音が出ないことがある

- 内部に水や異物が入った
 - 電源プラグが異常に熱い
 - 本体に変形や破損した部分がある
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。



分解禁止

分解、改造をしない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない



(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

可燃性ガスのスプレー等を使用しない



清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。



警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたためらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しびきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない



たご足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどいっしょに保管しない
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から 15 cm 以上離す



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。



●直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

●また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。



●背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがしないでください。

●また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

●高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかけて、けがの原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。



また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。



●設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

●電源プラグを抜く ●ディスクやUSB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する



けがの原因になることがあります。

●特にお子様にはご注意ください。指はさみ注意

機器の前にものを置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

●ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。

●リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。

●誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

注意

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合があります。

●お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。



3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する



そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

●適度な休憩をとってください。

●3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない



磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。

本機の設置について

- アンプなどの熱源となる物の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起りにくい場所に設置する。

タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

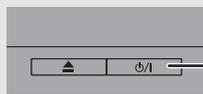


つゆつき(結露)について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど)
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで(約2～3時間)、電源を切ったまま放置してください。

本機の操作ができなくなったときは…



[ON/OFF]を
3秒以上押す

① 本体の [ON/OFF] を押し、電源を切る

- 切れない場合は、約3秒間押しただまにすると強制的に切れます。(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

② 本体の [ON/OFF] を押し、電源を入れる

(起動に時間がかかる場合があります)

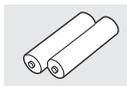
故障かな!? と思った場合 (→44)

付属品 / リモコンの準備

付属品



リモコン (1 個)
N2QAYB001291



リモコン用乾電池 (2 個)
単 3 形乾電池



電源コード (1 本)
K2CA2YY00402



アンテナケーブル (1 本)
(75Ω 同軸ケーブル)
K2KYYYY00040

- アンテナケーブルは、地上デジタル放送の接続で使用してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ* および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2024 年 9 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

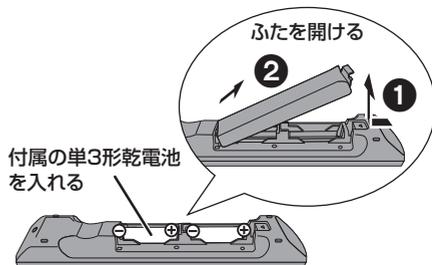
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>



リモコンに電池を入れる



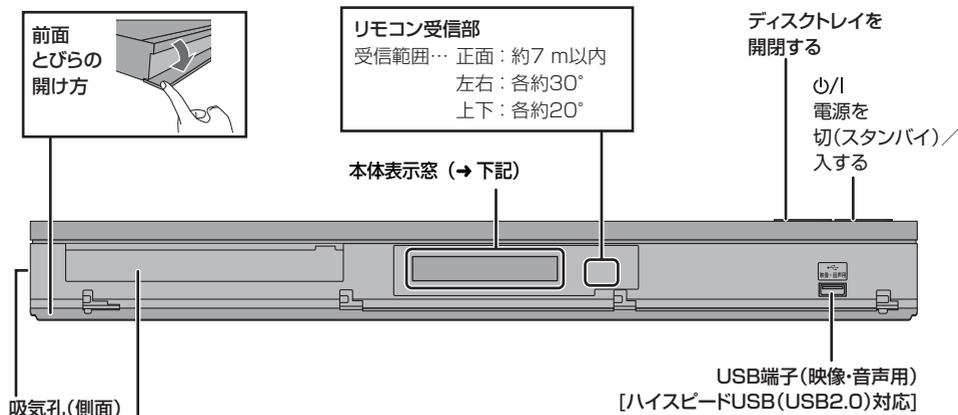
リモコンのふたを閉じるときは、開けるときの逆の手順②①で閉じてください。

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

安全上の注意

各部の働き

本体前面



ディスクトレイ

開/閉

リモコンの を押してディスクトレイを開き、ラベル面を上にしてディスクを入れる

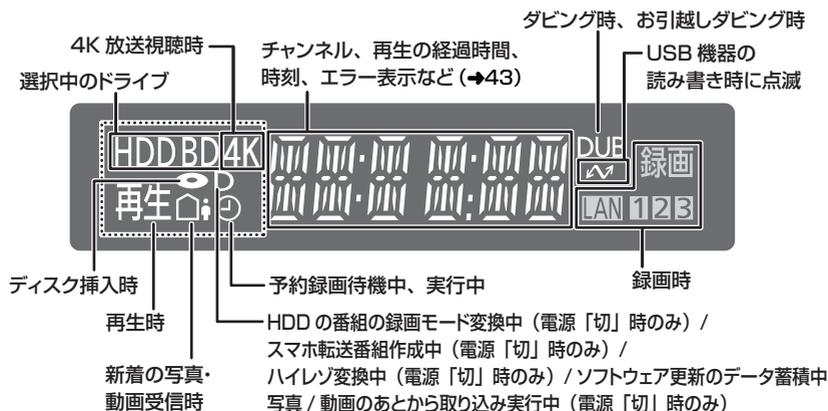
- もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。
- 本体の でも操作できます。

お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい面を下にして入れてください。

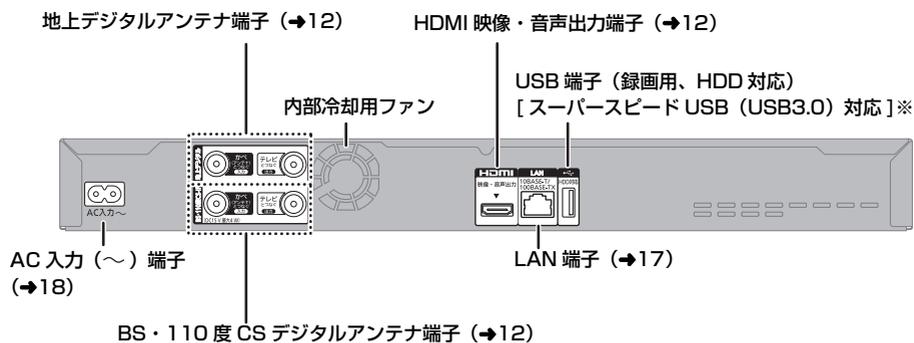
本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。



本体表示窓に時刻を表示させるには (→42)

本体背面



※ 録画用 USB-HDD、写真・音楽用 USB-HDD、SeeQVault 対応 USB-HDD を接続する場合は、この端子に接続してください。(→21)

接続の前に

本機は「BS4K/110度CS4K放送」の視聴や録画をすることができます。(下記の表に記載の放送局名は変更される場合があります)

- 従来のBS・CSデジタルアンテナ(右旋円偏波対応)に本機を接続することで、4K放送が楽しめます。
- さらに多くのチャンネルを視聴する場合は、「SHマーク」対応のBS・CSデジタルアンテナ(左旋円偏波対応)や接続機器などが必要です。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。

受信できる BS4K/110度 CS4K放送	NHK BS4K	BS朝日 4K	左記以外の BS4K放送	スカパー！などの 110度CS4K放送
	BSフジ 4K	BS-TBS 4K		
接続する機器	BSテレ東 4K	BS日テレ 4K		
従来の機器※で接続する場合	○ (受信可)		× (受信不可)	× (受信不可)
SHマークのある機器で接続する場合 	○ (受信可)		○ (受信可)	○ (受信可)

従来の機器※で接続する場合	→	テレビと接続する場合 (従来の機器で接続)	A	(→12)
	→	すでに別のレコーダーが接続されている場合 (従来の機器で接続)	B	(→13)

SHマークのある機器で接続する場合	→	テレビと接続する場合 (SHマークのある機器で接続)	C	(→14)
	→	すでに別のレコーダーが接続されている場合 (SHマークのある機器で接続)	D	(→15)

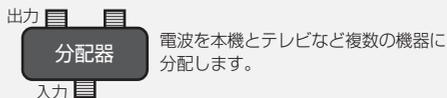
セットトップボックス (CATV・光回線など) を利用する場合		→	E	(→16)
---------------------------------------	---	---	----------	-------

ケーブルテレビの端子

※従来の機器：従来ご使用のBS・110度CSデジタル放送を受信できる環境(アンテナ、分配器、分波器など)

お知らせ

- 本機では 8K 放送は受信できません。
- アンテナケーブルを接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをお勧めします。
F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付け過ぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビに BS・CS デジタルアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や分配器、専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



- HDMI ケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。
- 🔌 テレビに本機の映像が映らない場合は (→18)

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル (別売) が必要です。接続するテレビに合わせて HDMI ケーブルをご準備ください。当社製 HDMI ケーブルはバナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。

- 4K/60p をお楽しみになりたい場合は、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルが必要です。
- 上記以外の場合は、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

接続と設定を行う

ACAS チップと ACAS 番号について

本機はデジタル放送を受信するための ACAS チップを内蔵しています。そのため、従来機器のような B-CAS カードの挿入は不要です。

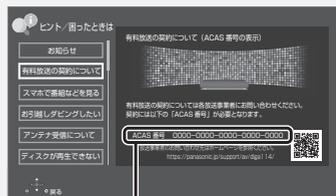
- 本機は、高精細な映像コンテンツを保護するため、ACAS チップ[®] を内蔵しています。(B-CAS カードは同梱していません)
- ※ ACAS チップには ACAS 番号 (20 桁) が書き込まれています。NHK の受信契約メッセージ消去や有料放送を視聴するには、ACAS 番号が必要です。ACAS 番号をご確認のうえ、保証とアフターサービス (→50) の記入欄にメモしておいてください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先の NHK や有料放送に解除または変更連絡をしてください。

ACAS 番号を確認するには

以下の手順で確認することができます。確認は接続と設定終了後に行うことができます。

① ホーム を押す

② データ を押す



接続1 テレビやアンテナと接続する

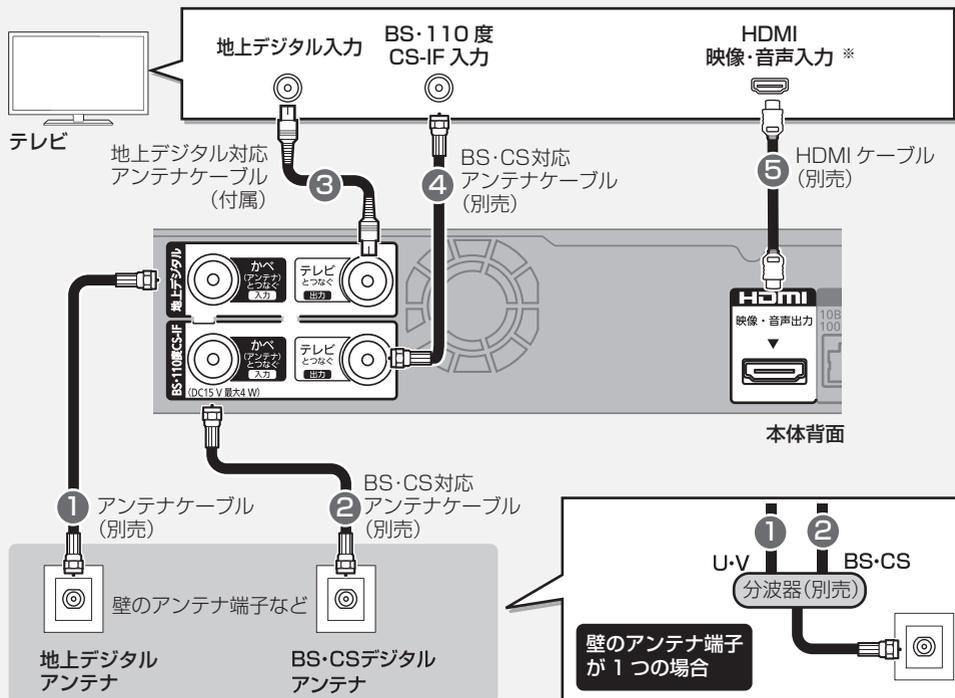
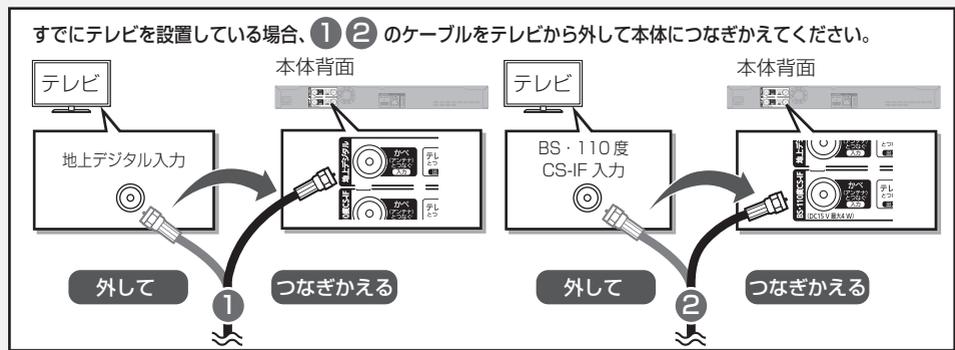
A

テレビと接続する場合（従来の機器で接続）

①～⑤のケーブルを接続してください。
 (BS/CSを視聴しない場合、②④の接続は不要です)

BS4K/110度CS4K放送は、下記接続では一部の放送局しか受信できません。

すべての放送局を受信したい場合は **C** (→14) の接続をしてください。



※ 4K出力するには、4K対応テレビのHDMI端子に接続してください。

B

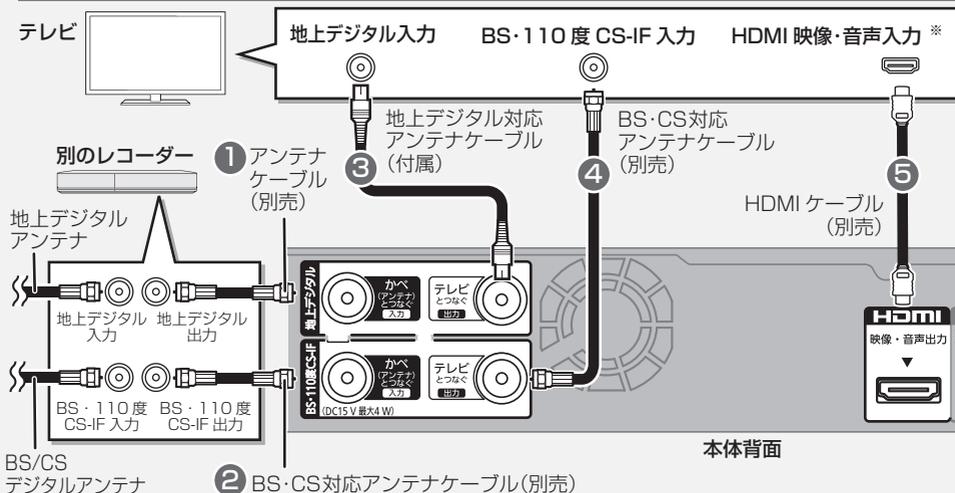
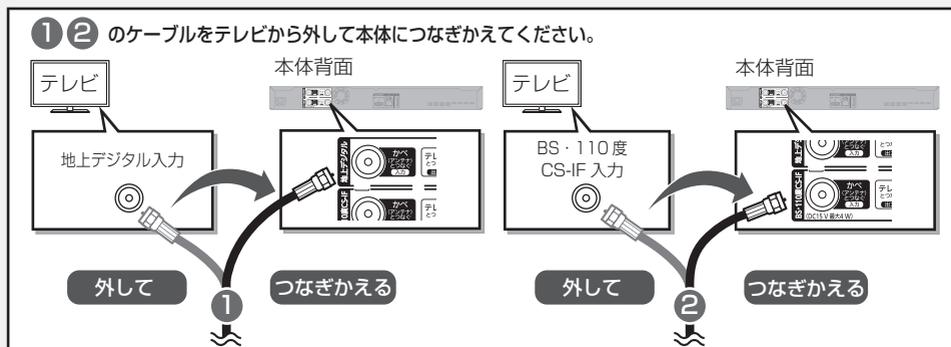
すでに別のレコーダーが接続されている場合（従来の機器で接続）

①～⑤のケーブルを接続してください。

（別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください）

BS4K/110 度 CS4K 放送は、下記接続では一部の放送局しか受信できません。

すべての放送局を受信したい場合は **D** (→15) の接続をしてください。

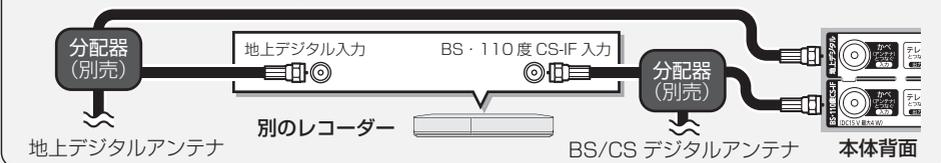


BS/CS
デジタルアンテナ

② BS・CS対応アンテナケーブル(別売)

上記の接続で映像が乱れる場合

アンテナレベルが不足しているなどでテレビの映像が乱れるときがあります。その場合は、下記のようにアンテナ接続をしてください。



※ 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

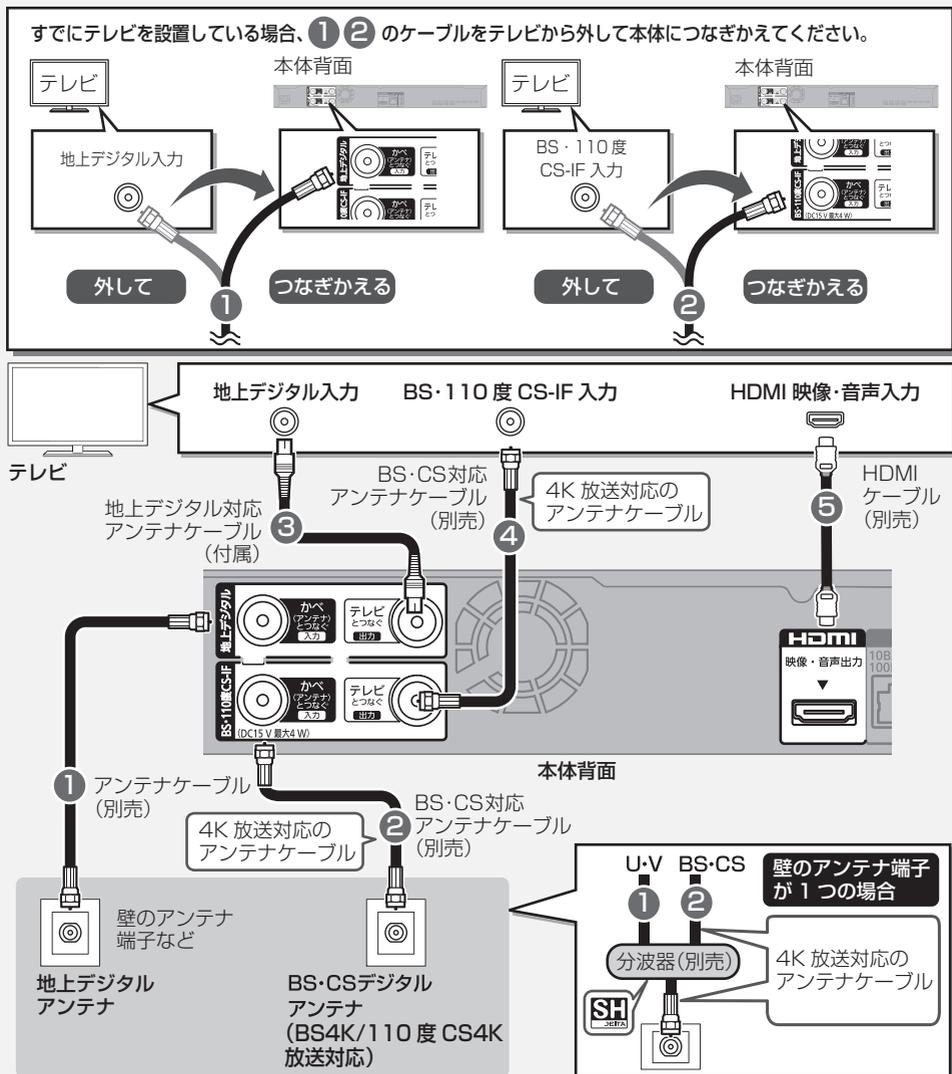
接続1 テレビやアンテナと接続する (続き)

C

テレビと接続する場合 (SH マークのある機器で接続)

①～⑥のケーブルを接続してください。

A の接続では BS4K/110度 CS4K 放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 8K 放送を受信することはできません。



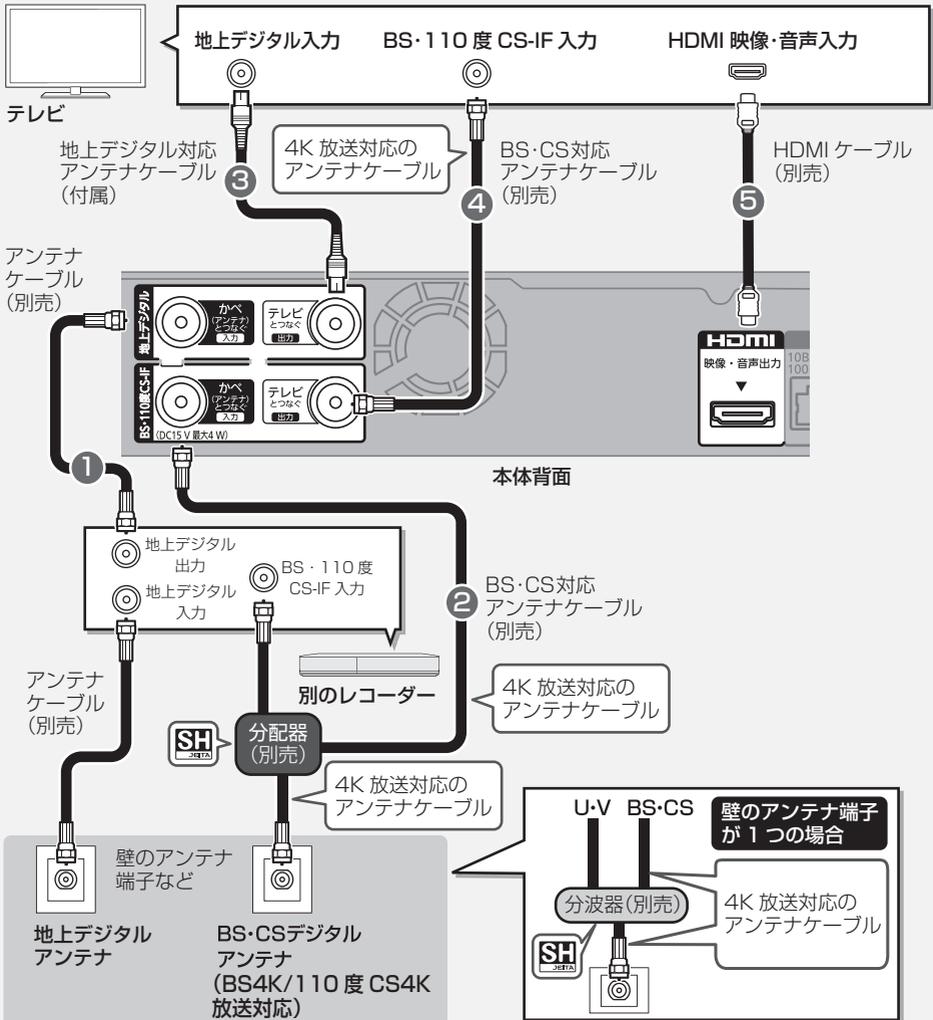
●BS4K/110度 CS4K 放送を受信するためには、SH マーク () の付いている接続機器をご使用ください。

D

すでに別のレコーダーが接続されている場合 (SH マークのある機器で接続)

①～⑤のケーブルを接続してください。
(別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください)

B の接続では BS4K/110 度 CS4K 放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 8K 放送を受信することはできません。



接続と設定を行う

●BS4K/110 度 CS4K 放送を受信するためには、SH マーク () の付いている接続機器をご使用ください。

接続2 ネットワーク接続の準備をする

必要に応じて

本機をネットワークに接続すると、さまざまなサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、接続と、ネットワーク設定を行ってください。(→19)

本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

ハブまたはブロードバンドルーターを使って接続する

LANケーブル(別売)

LANケーブル以外(電話のモジュラーケーブルなど)を挿入しないでください。故障の原因になります。

LAN 10BASE-T/100BASE-TX

ハブまたはブロードバンドルーター インターネット

接続機器

接続に関する詳細は、接続する機器の説明書をご覧ください。

- 接続機器とルーターは、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

接続と設定を行う

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を使って接続する

本体

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント） インターネット

接続機器

接続に関する詳細は、接続する機器の説明書をご覧ください。

接続機器とルーターは、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

🔔お知らせ

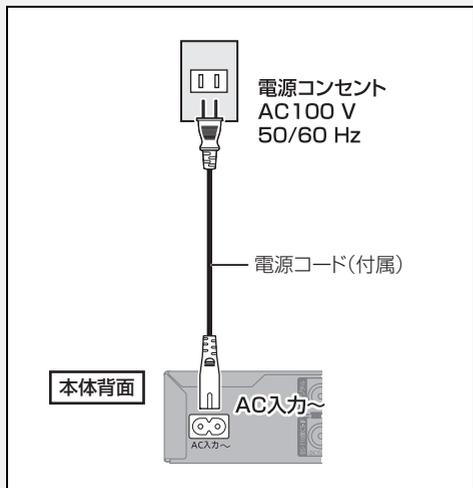
- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）は 802.11ac または 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）のものをお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。
<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>
- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください。(→上記)

以下の接続については、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。(活用ガイド参照方法は→表紙)

- ネットワーク接続の準備をする（各機器と直接接続する）

接続③ 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、
接続してください。



⚡ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

(消費電力：待機時 →46)

- 電源コードを抜いている場合：
 - ・ 自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
 - ・ テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

困ったときには

テレビに本機の映像が映らない

- テレビの入力を確認してください。
- 本機およびテレビ側の HDMI 端子、HDMI ケーブルのほりを取り除き、しっかり接続し直してください。
- 本機およびテレビの主電源を入れ直してください。
- 安定した映像をご覧いただくためには、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルをお使いください。

詳しくは下記サポートページをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/av/diga706/>



テレビ放送が映らない／映りが悪い

- 地上デジタルと BS・CS のアンテナ端子を逆に接続していないか確認してください。
- 本機および接続機器とのアンテナ端子の入力と出力が間違っていないか確認してください。

詳しくは下記サポートページをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/av/diga711/>



設定 かんたん設置設定をする

初めて電源を入れたときに、かんたん設置設定を行います。

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



テレビのリモコン

3 本機のリモコンの電源を押す



4 画面の指示に従って設定をする

お知らせ

- 本体表示窓に「SETUP」が表示されている状態で、テレビに映像が映らない場合は (→18)

リモコンの設定

リモコンモードの設定

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。(→42)

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの [テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +,-]、[消音] でテレビを操作できます。また、[テレビ操作] を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。(→42)

ネットワーク設定

有線 LAN で接続する場合

有線 LAN ケーブルで接続する場合は、背面の LAN 端子に接続してから設定してください。

- 1 「有線 LAN でネットワーク接続する」を選び、決定を押す

無線 LAN で接続する場合

- 1 「無線 LAN でネットワーク接続する」を選び、決定を押す
- 2 接続方法を選び、決定を押す
- 「無線ネットワーク検索」を選んだ場合
- 3 接続したい機器を選び、決定を押す



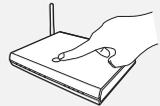
4 暗号化キーを入力する

- 入力する暗号化キーは、接続する機器の説明書などでご確認ください。



■ 「WPS (プッシュボタン) 方式」を選んだ場合

- 3 無線ブロードバンドルーター(無線 LAN アクセスポイント) の WPS ボタンを押す
 - 操作方法は接続する機器の説明書などでご確認ください。
- 4 決定を押す



お知らせ

- 無線設定 (→34) の画面で「電波状態」のインジケータが 4 つ以上 (受信レベル 30 以上) 点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。

設定終了後にネットワーク設定をやり直すには (→34)

チャンネル設定

ピエラリンク (HDMI) Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得します。テレビから設置情報を取得できない場合、画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください。

商品登録を行う場合 (→裏表紙)

接続と設定を行う

ディスクについて

記録できるディスク

BD-RE※1 繰り返し 記録		表示マーク： BD-RE
BD-R※1 1回のみ 記録		表示マーク： BD-R
DVD-R※2 DVD-R DL (片面2層)※2 1回のみ記録	 	表示マーク： -R ●AVCREC方式： -R AVCREC ●VR方式： -R VR ●ビデオ方式： -R V
DVD-RW※2 繰り返し 記録		表示マーク： -RW ●VR方式： -RW VR ●ビデオ方式： -RW V

- ※1 4KDRモード、4K画質モードで記録した番組は、他機器では再生できない場合があります。当社製機器の再生については、当社ホームページをご覧ください。(→2)
- ※2 デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクが確かめてください。
- 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
 - DVDの記録方式は、本機でフォーマットすることで設定されます。

フォーマット・ファイナライズについて

- 新品または他の機器で使っていたディスクは、そのままでは本機で記録できない場合があります。その場合は、本機でフォーマットしてください。
- 本機で記録したディスクを他の機器で再生するにはファイナライズが必要な場合があります。

■ **フォーマット・ファイナライズを実行するには**
 [ホーム] ボタン→「メディアを使う」→「ブルーレイ (BD) / DVD」→「BD 管理」または「DVD 管理」→フォーマットまたはファイナライズを行う

再生のみできるディスク

Ultra HD ブルーレイ		●著作権保護のために、ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。
BD ビデオ		映像や音楽などの市販ソフト「A」または「A」を含むもの例)  ●リージョンコードは国により異なります。
DVD ビデオ		映像や音楽などの市販ソフト「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの例)  ●番号は国により異なります。
CD		音楽や音声記録された市販ソフト 写真が記録された CD-R や CD-RW (JPEG フォーマット記録ディスク)
+R +R DL (片面2層) +RW DVD-RAM		他機器で番組やハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク
DVD-R DVD-RW		他機器でハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA規格に準拠していないCD (コピーコントロールCDなど) は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cmディスクに記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- BD-RE (Ver.1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- HD DVD
- ビデオCD
- SACD
- SVCD
- DVDオーディオ
- BDオーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト
- カートリッジから取り出せないDVD-RAM (TYPE1)
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R (ビデオ方式)、DVD-R DL (ビデオ方式)、DVD-RW (ビデオ方式) など

USB-HDD および USB 機器について

USB-HDD について

当社にて動作確認をしている USB-HDD をお使いください。

すべての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。

動作確認機器については当社ホームページ (→2) をご覧ください。

本機は、USB-HDD に番組を録画できます。

- USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、USB-HDD に複数の番組を同時に録画することができます。また、4K 放送の番組を予約録画することができます。(USB3.0 非対応の場合は、複数番組の同時録画や 4K 放送の予約録画はできません)
- USB-HDD の説明書もご確認ください。

USB-HDD の容量について

160 GB 以上 8 TB 以下

USB-HDD に記録できるコンテンツについて

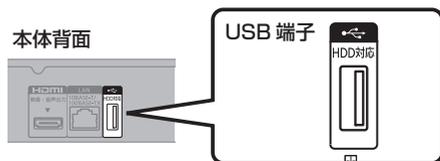
フォーマット	録画用	写真・音楽用	SeeQVault
コンテンツ			
番組	○	×	○*
撮影ビデオ (AVCHD)	×	×	○
動画 (MP4)	×	○	○
写真	×	○	○
音楽	×	○	○

※ ・予約録画はできません。ダビングでの記録のみ可能です。ただし、コピー制限のある番組をダビングした場合は、USB-HDD の番組のダビング残り可能回数は 1 回になります。

- ・「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」や「まとめ番組の作成」はできません。
- ・保存している番組数が多い場合、本機の電源を入れてから最大数分の間、SeeQVault フォーマットした USB-HDD へのダビング、消去など再生以外の操作ができません。
- ・4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録することはできません。

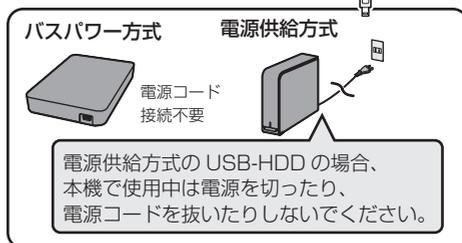
接続する

USB-HDD は、本体背面の USB 端子に接続してください。(前面の端子に接続すると、録画できません)



USB 接続ケーブル

USB-HDD に付属の USB 接続ケーブルをご使用ください。



- USB ハブを使用して接続しないでください。

お知らせ

- 無線 LAN をご使用の場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。以下のように設置してください。
 - ・ 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターと接続し、5 GHz で使用する
 - ・ ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する

USB-HDD および USB 機器について (続き)

録画用フォーマットで使用する

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録できるのは最大 8 台です。複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

[ホーム] ボタン→「設定」→
「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→
「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の登録」で登録を行う

写真・音楽用フォーマットで使用する

- SeeQVault 対応の USB-HDD は写真・音楽用フォーマットはできません。
- 写真・音楽用フォーマットの USB-HDD は、番組を録画することはできません。

[ホーム] ボタン→「設定」→
「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→
「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→
「写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット」を選んで登録する

「録画用 USB-HDD のフォーマット」が表示されている場合は、[サブメニュー] を押して「写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット」を選んで登録してください。

SeeQVault フォーマットで使用する

- 番組の予約録画はできません。番組や撮影ビデオ、写真、音楽をダビングすることができます。
- 他の SeeQVault 対応ディーガで再生やダビングをすることができます。(SeeQVault 対応の USB-HDD を録画用フォーマットで使用すると他のディーガで使用できません)

[ホーム] ボタン→「設定」→
「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→
「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→
「SeeQVault 対応のフォーマット」を選んで登録する

「録画用 USB-HDD のフォーマット」が表示されている場合は、[サブメニュー] を押して「SeeQVault 対応のフォーマット」を選んで登録してください。

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的に USB-HDD を取り外したい場合に、以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

[ホーム] ボタン→「設定」→
「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→
「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の取り外し」で取り外す

USB 機器について

当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラなどと接続することができます。動作確認済みの機器については、当社ホームページ (→2) をご覧ください。

- USB リーダー & ライター、USB 電源を利用する機器などは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合や USB 端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使う USB 接続ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

●お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。
- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

写真・動画・音楽の取り込み・書き込み中は、電源を切ったり、USB 接続ケーブルを抜いたりしないでください。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがあります。

ホーム画面から機能を選ぶ

「仕様」の詳細は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をご覧ください。(活用ガイド参照方法は → 表紙)

本機で使用する主な機能はホーム画面から選ぶことができます。

1  を押す

2 項目を選び、 を押す



ホーム画面は3つのページに分かれています。
 [◀][▶] (リモコンの左右ボタン) を数回押してページを切り換えてください。

録る	番組表を表示します。(→26) 録画の予約を行うことができます。		
見る	録画一覧を表示します。(→30) 録画した番組を表示することができます。		
残す (ダビングする)	かんたんダビングまたは詳細ダビングを行います。(→31) 録画した番組をダビングすることができます。		
お録りおきを見る	(→活用ガイド「録画した番組を再生する→お録りおき番組を再生する」)	お部屋ジャンプリnk	(→32)
ヒント/困ったときは	本機の便利な使い方やよくあるご質問が表示されます。 ご使用時に困ったことなどがありましたらご覧ください。	音楽を聴く	(→活用ガイド「音楽ファイルを再生する」)
写真/動画を見る	(→活用ガイド「写真や動画を再生する」)	新番組/特番おしらせ	(→活用ガイド「新番組/特番/初放送の確認や予約をする」)
最新ニュース	(→活用ガイド「自動予約する→ニュース番組を自動で予約録画する」)	ニューストピックス	(→活用ガイド「自動予約する→ニュース番組を自動で予約録画する」)
ニュース録画設定		カテゴリまとめて検索	(→29)
おまかせ録画	(→活用ガイド「自動予約する→おまかせ録画する」)	予約確認する	(→活用ガイド「予約内容の確認、取り消し、修正など」)
お引越しダビング	(→31)	番組ニュース	(→活用ガイド「番組ニュースを確認する」)
設定	本機の設定の変更や確認ができます。(→34)	メディアを使う	(→活用ガイド「写真や動画を再生する」、「音楽ファイルを再生する/取り込む/書き出す」)
全機能から選ぶ	ホーム画面に表示されていない機能を選ぶことができます。	スマホで楽しむ (どこでもディーガ)	(→2)

4K 放送の録画、ダビングについて

4K 放送の録画について

4K 放送の番組を録画する場合、4KDR モードまたは 4K 画質モードで録画できます。

 4K 放送  4K	4KDR モード で録画	 HDD	 USB3.0対応のUSB-HDD (録画用フォーマット)	放送されたままの画質で録画します。  録画一覧では 4K が表示されます。
	4K 画質 モード で録画	 HDD	 USB3.0対応のUSB-HDD (録画用フォーマット)	4K 画質で録画します。  録画一覧では 4K が表示されます。

4K 画質モードを選んで録画した場合、本機はいったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

4K 放送の番組を 1.5 ~ 15 倍録モードで録画することはできません。

4K 放送の番組のダビングについて

4K 放送の番組をディスクにダビングする場合、ディスクによって選択できる録画モードは異なります。

 4K 放送の番組  4K	画質を 変えずに ダビング	 BD-RE BD-R	4K 画質のままダビングできます。
	4K 画質 モード で画質変更 ダビング	 BD-RE BD-R	4K 画質でダビングできます。*
	1.5 ~ 15 倍録モード で画質変更 ダビング	 BD-RE BD-R	 DVD

* 録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K 8~12 倍録」に設定して **BD-RE** **BD-R** に画質変更ダビングはできません。いったん「録画モード変換」(→活用ガイド「番組を消去する / 編集する→録画モード変換」) で「4K 4.5 倍録」から「4K 8~12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください。

4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R の他の機器での再生について

4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R は、他の機器では再生できない場合があります。4KDR モードの番組の場合、設定「4KDR のダビング方式」を「ダビング方式 2」に変更すると、他の機器でも再生できる場合があります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。(→2)

テレビ放送を見る / 放送中の番組を録画する

本機のチューナーを使用してテレビ放送を視聴します。

1 **地上** **BS** **CS** **BS/CS 4K** を押す

2 **1** ~ **12** または **チャンネル** を押して、**チャンネルを選ぶ**

番組表から選局

1 **番組表** を押す

2 放送中の番組を選び、**決定** を押す

3 「今すぐ見る」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 番組表に 8K 放送の放送局も表示される場合がありますが、本機で視聴することはできません。

3桁チャンネル番号を入力して選局

1 テレビ視聴中に、**3桁入力 消去** を押す

2 **1** ~ **10** を押して、チャンネルを入力する

お好みチャンネルから選局

テレビ視聴中に、**お好みチャンネル 10桁戻し** を押す

データ放送を見る

- 本機では、データ放送を録画できません。
- 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。(→17、19)

データ放送のある番組を選局し、**データ** を押す

データ データ画面を消すには
[**データ**] を押す

番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示する

番組表示 を押す

音声の切り換えや字幕の表示をする

音声 または **字幕** を押す

放送内容などの設定

信号切換などの設定を行うことができます。

1 テレビ視聴中に、**サブメニュー** を押す

2 「デジタル放送メニュー」を選び、**決定** を押す

放送中の番組を録画する

HDD HDD にのみ録画できます。

左記手順2のあと

3 **録画モード** を押す

4 **録画モード**を選び、**決定** を押す

5 **ワンタッチ予約 録画** を押す

6 **録画の終了方法**を選び、**決定** を押す

- 4K 放送は、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。

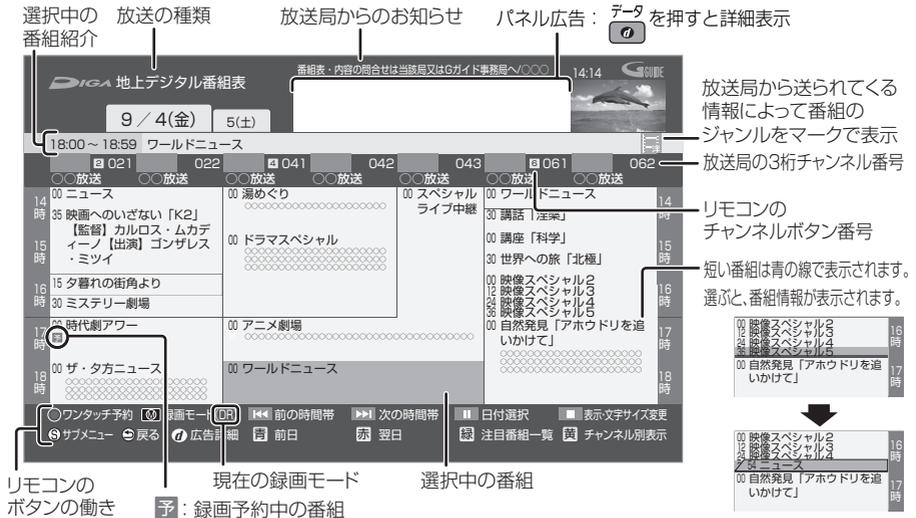
録画を止める

停止 を押す

予約録画する

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する

- **[HDD]** **[BD-RE]** **[BD-R]** **[USB-HDD]** (録画用フォーマット) に予約録画できます。
- ディスクへは、DRモードで1番組のみ予約できます。(4K放送は予約録画できません/DVDには予約録画できません)
- お買い上げ直後は、すべての番組表の情報が表示されません。番組表のデータ取得には1日程度時間がかかる場合があります。



1 を押す

2 **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** (リモコンの上下左右ボタン) で番組を選ぶ

- ☞ 文字サイズを変更するには
[■ 停止] を押して、[赤] または [青] ボタンでサイズを調整する
- ☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上][BS][CS][4K] を押す
- ☞ 現在の録画モードを変更するには
[録画モード] を押す

3 を押す
 の代わりに を押すと、簡単に予約を完了できます。(が表示されます)

4 「番組予約へ」を選び、 を押す

5 項目を選び、 を押す
 ● 予約済みの番組を重複して予約することはできません。

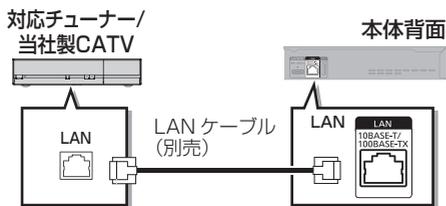
4K 放送の予約録画について

- HDDとUSB3.0対応のUSB-HDDにのみ予約できます。(USB3.0非対応のUSB-HDDとディスクには予約できません)
- 4K 放送の予約録画は最大 1 番組まで録画できます。
- 4K 画質モードで録画する場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- 1.5 ~ 15 倍録モードで録画できません。

詳細設定をする

上記手順 5 などで「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

スカパー！プレミアムサービス対応チューナー/CATV(ケーブルテレビ)から録画する



- ネットワーク接続と設定をする。(安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください) (→17)
- 「お部屋ジャンプリンク/スカパー！Link (録画) 設定」(→34) を「入」にして使用してください。
- 4K 放送番組の録画はできません。

HDD

対応チューナー /CATV 側でネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体表示窓の「LAN」が点灯します。

検索機能を使って番組を探す

複数の検索条件を組み合わせて、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 を押す

2 検索条件を設定する

- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
- ☑ 設定した検索条件をリセットするには
[青] を押す

3 すべての設定が終了したら、 を押す

- ☑ 再検索するには
[検索] を押す

録画 / 予約録画に関するお知らせ

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

- 以下の場合は、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。
 - ・ 複数の番組を録画できない状態のとき
 - ・ USB3.0 非対応の USB-HDD に予約しているとき
- 次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始め、約 1 分が録画されない場合があります。

予約番組が重なっているとき

予約一覧画面(→活用ガイド「予約内容の確認、取り消し、修正など」)で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

- 開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。
- 開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

4K 画質モードの録画について

- 4K 放送の番組を 4K 画質モードで予約録画する場合は、いったん 4KDR モードで録画します。

DR モード切り換えについて

1.5 ~ 15 倍録モードでの録画中に、再生やダビング、4K 放送番組の視聴、お部屋ジャンプリンクなどを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例) **[BD-V]** 再生時

再生を開始します。

ハイビジョン画質で録画中の番組を DR モードに切り換え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
(電源「切」時に予約録画などで本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います)

予約録画する (続き)

録画 / 予約録画に関するお知らせ (続き)

本機は録画する放送によって選択できる録画モードが異なります。

4K 放送録画時の録画モード

録画モード	4KDR	4K 1.3 倍録から 4K 8 ~ 12 倍録	1.5 ~ 15 倍録
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	4K画質 放送データを圧縮 (映像圧縮方式: HEVC/H.265) して、4K 画質で長時間記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 (映像圧縮方式: MPEG-4 AVC/H.264) して、ハイビジョン画質で長時間記録
記録できるメディア	HDD BD-RE ^{*1} BD-R ^{*1} USB-HDD ^{*1}	HDD BD-RE ^{*1} BD-R ^{*1} USB-HDD ^{*1}	HDD ^{*2} BD-RE ^{*1} BD-R ^{*1} -R AVCREC ^{*1} USB-HDD ^{*1} *2
サラウンドの音声	サラウンド音声	サラウンド音声 ^{*3}	ステレオ音声
複数の音声	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つまで記録 ^{*4}	音声は 1 つだけ記録 ^{*4}
二重音声	両方の音声を記録		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報を記録しない。再生時、字幕表示の入 / 切はできない ^{*4}

おまかせ長時間「4K 8~12 倍録」モードについて

「4K 8~12 倍録」モードは、番組の内容に応じて録画倍率を 8 倍録から 12 倍録まで自動調整して録画します。スポーツや音楽など動きが激しい映像では、録画倍率が 8 倍相当になるため、画面に表示している記録可能時間よりも実際に記録できる時間が短くなることがあります。

デジタル放送録画時の録画モード

録画モード	DR	1.5 ~ 15 倍録	XP・SP・LP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 (映像圧縮方式: MPEG-4 AVC/H.264) して、ハイビジョン画質で長時間記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせて XP ~ LP の中で画質を自動調整して記録 ^{*5}
記録できるメディア	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE ^{*6} BD-R ^{*6} -R AVCREC ^{*6} USB-HDD	-R VR ^{*6} -R V ^{*6} *7 -RW VR ^{*6} -RW V ^{*6} *7	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 (ダウンミックス 2 チャンネル)	
複数の音声	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つまで記録 ^{*4} *5	音声は 1 つだけ記録 ^{*4}	
二重音声	両方の音声を記録			
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報は記録しない (再生時、字幕表示の入 / 切はできない) ^{*4}	

※1 4K 放送をディスクや USB3.0 非対応の USB-HDD へ記録する場合、ダビング時のみ可能です。

※2 4K 放送を HDD や USB3.0 対応の USB-HDD へ記録する場合、録画モード変換時のみ可能です。

※3 AAC2.2ch や AAC7.1ch を記録するには、設定の「4K 画質の音声 ch 数優先」を「入」に設定してください。詳細は以下のサポートページをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/av/diga118/>

※4 記録したい音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に以下の設定をしてください。
・録画時: 「デジタル放送メニュー」(→25) の「信号切換」で選ぶ

・予約録画時: 詳細設定の「信号設定」(→26) で選ぶ
・ダビング時: 「再生設定」(→活用ガイド「再生設定をする」) の「信号切換」で選んだあと、ダビングを行う

※5 番組の時間が少なくとも、ディスク残量がなくなる場合があります。

※6 ディスクへの記録はダビング時のみ可能です。

※7 **-R V** **-RW V** デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※8 15 倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。



その他の機能について

本機には以下の機能があります。
 詳細な操作方法は、「取扱説明書 活用ガイド」
 (PDF形式)をご覧ください。
 (活用ガイド参照方法は→表紙)

おまかせ番組を自動で予約録画する

設定した録画条件から番組を毎日検索し、自動で予約録画します。

- ①  を押す
- ② 「おまかせ録画」を選び、 を押す
- ③ 「未登録」を選び、 を押す

お録りおき番組を自動で予約録画する

お録りおきを設定すると、設定したチャンネルや時間帯のドラマやアニメを自動で予約録画します。(→活用ガイド「自動予約する→お録りおき番組を自動で予約録画する」)

注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

番組表表示中に、 を押す

ジャンルや人名、ワードで検索する

- ① 番組表表示中に、 を押す
- ② 「番組表の検索」を選び、 を押す
- ③ 検索機能を使って番組を探す場合 (→27)

時間指定予約

- ①  を押す
- ②  を押す
- ③ 予約内容を設定する

カテゴリーまとめて予約

お好みの番組に関連するカテゴリーの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

番組予約画面 (→26 手順 5) 表示中に「カテゴリーでまとめて予約する」を選び、 を押す

カテゴリーまとめて検索

- ① [ホーム] を押す
- ② 「カテゴリーまとめて検索」を選び、[決定] を押す
- ③ 「検索する」を選び、[決定] を押す

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(→活用ガイド「自動予約する→お録りおき番組を自動で予約録画する」)

番組追従機能

■ 野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間自動的に変更します。(3時間までの変更に対応)

- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■ 毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

(開始/終了時刻の3時間までの変更に対応)

- 番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

● お知らせ

- 時間指定予約では番組追従機能は働きません。
- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

番組表のサブチャンネルの表示を切り換える

- ①  を押す
- ②  を押す
- ③  を押す

録画した番組の再生・消去・ダビング

再生する

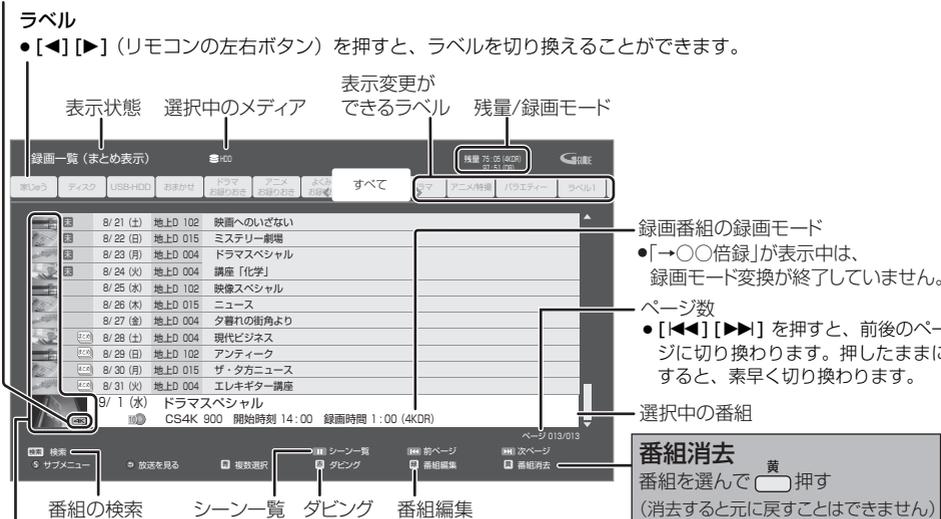
HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

4K 放送を 4KDR モード、4K 画質モードで録画した番組には **4K** が表示されます。

ラベル

- **[◀] [▶]** (リモコンの左右ボタン) を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態 選択中のメディア 表示変更ができるラベル 残量/録画モード



録画番組の録画モード

- 「→○○倍録」が表示中は、録画モード変換が終了していません。

ページ数

- **[◀◀] [▶▶]** を押すと、前後のページに切り換わります。押したままにすると、素早く切り換わります。

選択中の番組

番組消去
番組を選んで **黄** 押し
(消去すると元に戻すことはできません)

番組の検索 シーン一覧 ダビング 番組編集

HDD **USB-HDD** 録画後すぐは「録画済」と表示 (画像は電源「切」時に作成されます)

● 「家じゅう」「ディスク」「USB-HDD」(SeeQVault フォーマット) の場合、画像は表示されません。

1  を押す

2 録画一覧から番組を選び、**決定** を押す

- **まとめ** 番組を選んで、**[決定]** を押すと、**まとめ** 番組内の番組を表示できます。

ゆっくり再生 (0.8 倍速)

再生速度を落とし、音声を聴き取りやすくします。

再生中 [ゆっくり] を押す

- もう一度 **[ゆっくり]** を押すと、元の速度に戻ります。

お知らせ

- 音声をはっきりさせることもできます。(→活用ガイド「再生設定をする→音質設定→はっきり効果の強さ」)
- 4KDR モード、4K 画質モードの番組、Ultra HD ブルーレイは、ゆっくり再生ができません。

プレビューサーチ

HDD **USB-HDD** (録画用フォーマット)

録画番組の気になるシーンを探して見るすることができます。

- 1 再生中に **[▼]** (リモコンの下ボタン) を押す
- 2 **[◀] [▶]** (リモコンの左右ボタン) で再生したい位置の画像を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 編集した録画番組やダビングした番組は、シーン画像が未作成の場合があります。
- 本機の動作状態によって、シーン画像が未作成の場合があります。

- 写真や動画、音楽を楽しむ場合は「活用ガイド」をご覧ください。
 - 写真や動画：活用ガイド「写真や動画を再生する」
 - 音楽：活用ガイド「音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す」
- 録画した番組を編集したい時は「活用ガイド」の「番組を消去する / 編集する」をご覧ください。

番組をダビングする(かんたんダビング)

ダビング方向: HDD → **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**

HDDにある番組をディスクにダビングします。

- 4KDRモードまたは4K画質モードでダビングする場合は、**BD-RE** **BD-R** を使用してください。

1  を押す

2 「残す」を選び、 を押す

3 「かんたんダビング」を選び、 を押す

4 かんたんダビング一覧から番組を選び、 を押す

5 「番組選択完了」を選び、 を押す

6 「ダビング開始」を選び、 を押す

7 「はい」を選び、 を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合は、自動的にフォーマットします。

お知らせ

- [DVD画質]で未フォーマットの**-R** **-RW**にダビングする場合は、以下の記録方式にフォーマットします。
 - ・～の番組が含まれている場合: VR方式
 - ・～の番組が含まれていない場合: ビデオ方式
- 1回にダビングできる番組は99番組までです。
- 4KDRモード、4K画質モードの番組とそれ以外の番組を同じディスクにダビングすることはできません。
- プロテクト設定されているの番組はダビングできません。
- ダビング中に電源を切ることはできません。
- 録画モードを「4K 4.5倍録」から「4K 8~12倍録」に設定して、**BD-RE** **BD-R**に画質変更ダビングすることはできません。いったん「録画モード変換」(→活用ガイド「番組を消去する/編集する→録画モード変換」)で「4K 4.5倍録」から「4K 8~12倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください。

お引越しダビング

お引越しダビングに対応したディーガや他社製レコーダーなどとネットワーク接続すると、番組をダビングすることができます。他のディーガや他社製レコーダーなどから本機にまとめて移動するときに便利です。

- 対応機器については、当社ホームページ(→2)をご覧ください。

- 本機は4KDRモード、4K画質モードの番組のお引越しダビングに対応しています。4KDRモード、4K画質モードの番組のお引越しダビングは、ダビング元とダビング先の両方の機器が対応している必要があります。
- お引越しダビング非対応のディーガの場合、お引越しダビングは利用できません。その場合は、BD-REなどのディスクにダビングしたうえで本機にダビングしてください。
- 写真・音楽用USB-HDDのフォーマット対応のディーガから写真を移動するときは、写真・音楽用フォーマットされたUSB-HDDを使用して写真を移動することができます。
- ネットワーク接続と設定をする。(→17、19)
- ダビング元の「お部屋ジャンプリンク/スカパー! Link(録画)設定」を「入」にして使用してください。

接続する機器によっては、手順が異なる場合があります。その場合は画面の指示に従ってください。

1  を押す

2 「お引越しダビング」を選び、 を押す

3 画面に従って操作する

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。

お知らせ

- 写真・音楽用フォーマットまたはSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDからはダビングできません。
- 1回に複数選択できる番組は99個までです。
- 以下の番組はダビングできません。
 - ・プロテクト設定されているの表示がある番組
 - ・ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」の編集や、番組の複製をした番組
 - ・XP、SP、LP、FRモードの番組
- の表示がある番組は「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
- ～の表示がある番組は、ダビング先で「1回だけダビング可能」の番組になります。
- ダビング元の番組データ容量や通信速度によっては、ダビング完了までに数日かかる場合があります。
- 他社製レコーダーの場合、「まとめ表示へ」や「全番組表示へ」の切り換えはできません。また、ダビングの残り回数(～)は表示されません。
- ダビング元の写真は削除されません。

便利機能

お部屋ジャンプリnkを使う

お部屋ジャンプリnk機能

DLNA 対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

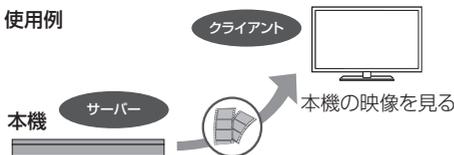
- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツや再生できる操作などは異なります。
- 当社製 DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
https://panasonic.jp/support/r_jump/
- 他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)

DLNA 対応機器から、本機の HDD に録画した番組・写真・音楽の再生や、USB-HDD に録画した番組の再生ができます。また、本機が受信する放送の視聴もできます。

- ネットワーク接続と設定をする。(→17、19)
- お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合 (→34)
- 「お部屋ジャンプリnk/スカパー! Link (録画) 設定」(→34) の「サーバーモード」の設定によって、クライアント側で再生できるコンテンツは異なります。

使用例



■ 録画番組やAVCHDの再生、放送中の番組を見る

- 1 「サーバーモード」を「モード 1」に設定する
- 2 テレビなどのクライアント機器側で操作する

■ 録画番組・AVCHD・動画・写真や音楽を再生、放送中の番組を見る

- 1 「サーバーモード」を「モード 2」に設定する
- 2 テレビなどのクライアント機器側で操作する

🔍お知らせ

- 本機に接続して同時に操作できるのは 2 台までです。
- 4K 放送の放送中の番組を見ることはできません。
- 4K 放送の番組は大量のデータを転送するため、無線 LAN では安定して再生できない場合があります。有線 LAN で接続することをお勧めします。

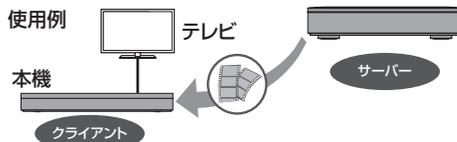
映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「お部屋ジャンプリnk/スカパー! Link (録画) 設定」(→34) の「通信/映像品質の設定」を「オート」または「モード 2」～「モード 5」にすると、番組の画質が調整され、問題が改善される場合があります。
- 無線 LAN 使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は、有線 LAN で接続してください。

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機からお部屋ジャンプリnk対応ディーガなどの HDD にある番組などを再生することができます。

使用例



- ネットワーク接続と設定をする。(→17、19)
- 接続した機器側で、本機を登録する。(当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリnk」または「ピエラリンク (LAN)」で登録する)
(本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順 1～3 の操作を行ってください)

1

ホーム を押す

2

「お部屋ジャンプリnk」を選び、決定 を押す

3

接続する機器を選び、決定 を押す

- 選んだ機器の画面が表示されます。画面に従って、以降の操作をしてください。

🔍お知らせ

- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリnkで接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(→30)
- 再生機器によっては、早送りなど再生中の操作が正しく動かない場合があります。

その他の機能について

本機には以下の機能があります。
詳細な操作方法は、「取扱説明書 活用ガイド」
(PDF形式)をご覧ください。
(活用ガイド参照方法は→表紙)

節電待機で電源を切る

「節電待機」で電源を切ると、電源「切」時の消費電力を少
なくすることができます。(消費電力→46)

- 1 テレビ視聴中に  を押す
- 2 「節電待機」を選び、 を押す
- 3 「はい」を選び、 を押す

●テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるど
きは、「取扱説明書 活用ガイド」(活用ガイド参照方法
は→表紙)の「本機が「節電待機」時にテレビを視聴
する場合」の接続方法をご覧ください。

録画した番組をモバイル機器に転送する

モバイル機器(スマートフォンなど)に転送するには、HDD
に録画した番組からスマホ転送番組を作成する必要があります。

スマートフォンを使って外で番組視聴するには
外出先から、番組の視聴や録画予約などができます。
下記ホームページをご覧ください。
https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

- 1  を押す
- 2 作成する番組を選び、 を押す
- 3 「スマホ転送番組の作成」を選び、 を押す

ビエラリンク(HDMI)を使う

本機とHDMIケーブル(別売)を使って接続したビエラリ
ンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン一つで簡単
に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、そ
れぞれの取扱説明書をご覧ください。(→活用ガイド「ビエ
ラリンク(HDMI)を使う」)

●すべての操作を保証するものではありません。

DIGA Drive 機能を使う

DIGA Drive 機能を利用すると、お使いのパソコンのブラウ
ザで以下の操作ができます。

「DIGA Drive 設定」(→34)の「DIGA Drive 機能」を「入」
にしてください。

- パソコンから本機に写真/動画、音楽をアップロード
する。
- 本機に取り込んだ写真/動画、音楽をパソコンにダウ
ンロードする。

DIGA Drive 機能に関する情報は、活用ガイド「DIGA
Drive 機能を使う」や下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/av/diga132/>

BD 管理 DVD 管理

ディスクのフォーマットやファイナライズなどを行うこと
ができます。(→活用ガイド「本機で記録できるようにする
(フォーマット)」、「ファイナライズ」)

ソフトウェアの更新

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことがで
きます。

オンエアダウンロード

電源「切」の状態、デジタル放送から送られてくる情報
を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェ
アを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっ
ています。(→34「ソフトウェア更新設定」)

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを
利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソ
フトウェアの更新をすることができます。

[→34「ソフトウェア更新(ネットワーク)」]

設定を変える

1  を押す

2 「設定」を選び、 を押す

3 変更したい項目を選び、 を押す

4 設定項目を選び、設定内容を変更する

■ 機器設定

- 自動電源オフ
- リモコン設定
- 日時設定
- 音声ガイドの設定
- クイックスタート設定・本体時計表示
- 節電待機モード
- 画面表示動作 [オート]
- テレビ画面の焼き付き低減機能
- お知らせ設定
- 本体表示窓の明るさ
- 認証 ID について
- ソフトウェア更新 (ネットワーク)
- 診断コード

■ HDD・USB-HDD・再生記録設定

- 再生設定
- 記録・ダビング設定
- HDD 番組の視聴制限
- HDD 設定
- USB-HDD 設定

■ 映像・音声設定

- スチルモード
- シームレス再生
- 音声のダイナミックレンジ圧縮
- HDMI 出力
- ダウンミックス
- シアターモード
- 音声ディレイ

■ HDMI 接続・ビエラリンク設定

- 3D 設定
- ビエラリンク設定
- HDMI 接続設定

■ ネットワーク設定

- かんたんネットワーク設定
- LAN 接続形態
- 無線設定
- IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定
- 宅外リモート接続設定
- お部屋ジャンプリンク / スカパー! Link (録画) 設定
- 家じゅう録画一覧設定
- デモラ / 使用情報の送信設定
- DIGA Drive 設定
- ネットワークカメラ連携設定
- MAC アドレス

■ 放送設定

- かんたん設置設定
- 放送受信設定
- デジタル放送 視聴・再生設定
- ソフトウェア更新設定

■ メール・情報

- 放送メール
- ソフトウェア更新情報（ネットワーク）
- ACAS チップ
- ID 表示
- ボード

■ お録りおき設定

■ 設定リセット

- すべての設定リセット
日時設定以外の設定をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合や、「故障かな!？」（→44）に記載された対応以外には、実行しないでください。
- 部分リセット

■ 利用規約／プライバシーポリシー

受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- アンテナレベルの入力レベルは以下の数値が目安となります。
 - ・地上デジタル：44 以上
 - ・衛星：54 以上
- アンテナの説明書もご覧ください。

「放送受信設定」（→34）の「受信アンテナ設定」を選んであと

- 1 修正したい放送を選び、**決定** を押す
- 2 アンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する
 - 「衛星」の場合、「アンテナ電源」を「入」にしてください。

受信チャンネルを修正する

「放送受信設定」（→34）の「チャンネル設定」を選んであと

- 1 修正したい放送を選び、**決定** を押す
地上デジタルの場合：修正する方法を選んでください。

地上デジタル 初期スキャン

引越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

地上デジタル マニュアル BS、CS、BS/CS4K

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	---
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po：「1」～「12」の表示はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、**▼** を押してください。

CH：テレビ画面や本体表示窓に表示される番号です。「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

- ☞ **放送局名が表示されない場合は**
再度「かんたん設置設定」を行ってください。（→34）

詳細な設定は、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF形式）をご覧ください。
（活用ガイド参照方法は → 表紙）

同時操作について

以下の表では、できる操作を「○」、できない操作を「×」で記載しています。

録画 / 予約録画中の同時操作

放送 / 入力	録画状態		再生				HDDの編集 ^{*1}	かんたんダビング	
	録画先	録画モード	HDD・USB-HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
BS4K CS4K	HDD (1番組録画)	4KDR 4K画質 モード	○	○	○	○	○	○	×
	USB3.0 対応の USB- HDD ^{*2}		○ ^{*3}	○	○	○	○ ^{*3}	×	×
地上D BS CS	HDD (1番組録画)	DR 1.5 ~ 15 倍録	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*5}	○	○ ^{*4}	○	×
	HDD (2番組録画)		○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*5*} 6	○	○ ^{*4}	○ ^{*6}	×
	HDD (3番組録画)		○ ^{*4*} 6	○ ^{*4*} 6	○ ^{*5*} 6	○ ^{*6}	○ ^{*4*} 6	○ ^{*6}	×
	BD	DR	○	×	×	×	○	×	×
	USB- HDD ^{*2}	DR 1.5 ~ 15 倍録	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*5}	○	○ ^{*4}	×	×
スカパー! プレミアム サービス CATV (LAN録画)	HDD	—	○	○	×	○	○ ^{*7}	○ ^{*8}	×

●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1 実行できる編集 (→活用ガイド「番組を消去する / 編集する」) (スマホ転送番組の作成はできません)

※2 録画用フォーマットのUSB-HDD使用時のみ予約録画できます。

※3 USB3.0対応のUSB-HDDに3番組を録画中(そのうち4K放送を1番組録画)は、USB-HDDの4KDRモード、4K画質モードの番組の再生や編集はできません。

※4 4KDRモード、4K画質モードの番組を再生すると、1.5倍録～15倍録で録画中の番組はDRモードに切り換えて録画を続けます。

※5 Ultra HDブルーレイを再生すると、1.5倍録～15倍録で録画中の番組はDRモードに切り換えて録画を続けます。

※6 1.5～15倍録で録画中の番組は、DRモードに切り換えて録画を続けます。

※7 録画モード変換はできません。

※8 画質変更ダビングはできません。

ダビング中の同時操作

4K 放送の番組をダビング中の場合

ダビングの種類	視聴 放送中の 番組	予約録画 の 実行	再生					HDD の 編集 ^{※1}
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
4K 画質モードの番組をディスクへ高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	×	×	×	×	○
4KDR モード の番組をディスクへ高速 ダビング中 (ファイナライズ切)	「4 KDRのダビング方式」が「ダビング方式1」時	○	○	×	×	×	×	○
	「4 KDRのダビング方式」が「ダビング方式2」時	×	○ ^{※2}	×	×	×	×	×
ディスクへ画質変更ダビング中 (ファイナライズ切)	×	○ ^{※2}	×	×	×	×	×	×
ディスクへファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×

●HDD 番組を複製中は、視聴や再生、編集ができません。

※1 実行できる編集(→活用ガイド「番組を消去する/編集する」)(録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません)

※2 スカパー！プレミアムサービスやCATVの番組の予約録画は実行できません。

デジタル放送の番組をダビング中の場合

ダビングの種類	視聴 放送中の 番組	予約録画 の 実行	再生					HDD の 編集 ^{※1}	
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD		
ディスクへ高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	×	×	×	×	○	
ディスクへ画質変更ダビング中 (ファイナライズ切)	○ ^{※3}	○ ^{※4}	○ ^{※5}	×	×	×	×	×	○ ^{※5}
ディスクへファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※1 実行できる編集(→活用ガイド「番組を消去する/編集する」)(録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません)

※2 HDD 番組を複製中は、再生できません。

※3 4K 放送番組の視聴はできません。

※4 スカパー！プレミアムサービスやCATVの番組の予約録画は実行できません。

※5 「4K」や「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D再生できません。

同時操作について (続き)

本機を操作中のお部屋ジャンプリnkの同時操作

1 台目		クライアント側の操作 (ビデオを見る / 放送を見る)				
		ビデオ	放送	ビデオ	ビデオ	放送
2 台目		—	—	ビデオ	放送	放送
HDD・録画ディスク再生中		○*1	○*1*2	○*1	○*1*2	○*1*2
4KDRモード、4K画質モードの番組を再生中		○*3	×	○*3	×	×
4K放送を視聴中		○*3	×	○*3	×	×
DVDビデオ再生中		○	○	○*3	×	×
BDビデオ・AVCHD再生中		○*3	○*3	○*3	×	×
HDDへ放送番組を1番組録画中		○	○	○	○	○*4
HDDへ放送番組を複数番組録画中		○*5	○*5*6	○*5	○*5*6	×
LAN経由で録画中		×	×	×	×	×
4KDRモード以外の番組をディスクに高速ダビング中		○*5	○*5	○*5	○*5	○*5
4KDRモードの番組をディスクに高速ダビング中	「4 KDR のダビング方式」が「ダビング方式1」時	○*5	○*5	○*5	○*5	○*5
	「4 KDR のダビング方式」が「ダビング方式2」時	○*3*5	×	○*3*5	×	×
番組をディスクに画質変更ダビング中		○*3*5	×	○*3*5	×	×
ネットワーク使用中		×	×	×	×	×

● 本機の状態によってはお部屋ジャンプリnkができない場合があります。

● 4K 放送の放送中の番組を見ることはできません。

※1 MP4 (4K) を再生中はお部屋ジャンプリnkはできません。

※2 本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。

※3 「お部屋ジャンプリnk/スカパー!Link (録画) 設定」(→34) の「通信/映像品質の設定」が「オート」または「モード2」～「モード5」の場合、お部屋ジャンプリnkができない場合があります。また、VGA 変換が必要な機器 (ピエラワンセグなど) がクライアントの場合、お部屋ジャンプリnkはできない場合があります。

※4 本機側が 4K 放送を録画中は 2 台目の機器で放送を見ることはできません。

※5 本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリnkはできない場合があります。

※6 本機側が 3 番組録画中は放送を見ることはできません。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 電源を切る
（本体表示窓から「BYE」が消えるまで待つ）
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待つ）から、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。

使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー（当社販売 / RP-CL720A は販売店でお求めいただけます）でほこりなどの除去をお勧めします。

使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。当社販売以外のレンズクリーナーをご使用になる場合は、本機で使用可能かを事前に各レンズクリーナーの販売メーカーにご確認ください。

- 当社販売のレンズクリーナーでのクリーニング中に音がかかることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待つてください。

個人情報について

- 本機にはお客様が撮影した写真や動画、ネットワーク機能で使用する機器IDや機器パスワードなどの個人情報記録されます。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、お客様が撮影した写真や動画などが記録されている場合があります。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「ネットワーク設定」(→34)の「ディモラ / 使用情報の送信設定」で機器登録を解除してから、「HDD・USB-HDD・再生記録設定」(→34)の「HDD設定」からHDDをフォーマットし、「設定リセット」(→35)の「すべての設定リセット」を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 製品を廃棄する際は、各自自治体の指示に従ってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先のNHKや有料放送に解除または更新の連絡をしてください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDDを録画用フォーマットでお使いになっていた場合、本機の修理過程においてUSB-HDDの登録が取り消される場合があります。

登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

取り扱いについて (続き)

HDD (ハードディスク)・USB-HDD (続き)

一時的な保管場所です

録画した内容や写真・動画・音楽の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング (バックアップ) を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。

このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報取り扱いおよび免責事項について

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器 (モデム、ルーターやハブなど) や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様の負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をすることがあります。あらかじめご了承ください。
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任を負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元のない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

視聴制限について

本機には、番組やディスクの視聴およびインターネットの閲覧を制限する機能があります。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。

- 制限機能を使用する場合：

[ホーム] ボタン → 「設定」 → 「放送設定」 → 「デジタル放送 視聴・再生設定」 → 「制限項目設定」 → 「ブラウザ制限」 → 「する」 に設定する

番組の視聴制限について

年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。(設定した年齢によって制限対象となる番組は視聴不可になります)

- 放送の視聴を制限する場合：

[ホーム] ボタン → 「設定」 → 「放送設定」 → 「デジタル放送 視聴・再生設定」 → 「制限項目設定」 → 「視聴可能年齢」 → 設定する

- 録画番組の視聴を制限する場合：

[ホーム] ボタン → 「設定」 → 「HDD・USB-HDD・再生記録設定」 → 「HDD 番組の視聴制限」 → 設定する

DVD ビデオ・BD ビデオの視聴制限について

年齢制限があるディスク (成人向けや暴力シーンを含むもの) の視聴可能なレベルや年齢を設定できます。(設定したレベルや年齢によって制限対象となるディスクは視聴不可になります)

- 視聴制限する場合：

[ホーム] ボタン → 「設定」 → 「HDD・USB-HDD・再生記録設定」 → 「再生設定」 → 「DVD-Video の視聴制限」 または 「BD-Video の視聴可能年齢」 → 設定する

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 人名検索に関連する機能
- シーン一覧に関連する機能
- 番組ニュース機能
- 宅外リモート接続機能
- 音楽のタイトルやアーティスト情報などをインターネット経由で取得する機能
- AI おすすめ機能
- その他の放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス

無線 LAN 使用上のお願ひ

■ 使用周波数帯

無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上の注意事項

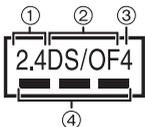
この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

DIGA (ディーガ)・オーディオ
使い方・お手入れなどのご相談窓口 (→ 裏表紙)

■ 周波数表示の見かた

周波数表示は、本体背面に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 変調方式が DS-SS と OFDM 方式
- ③ 電波干渉距離 40 m 以下
- ④ 2.4 GHz の帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■ 無線認証 ID 表示について

本機の認証 ID は、以下の操作で画面に表示することができます。「ホーム」→「設定」→「機器設定」→「認証 ID について」

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

本機の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および無線機能の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

一次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- 電子レンジ
- デジタルコードレス電話
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く (ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など) -802.11ac または 11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター・アクセスポイントをお選びください。5 GHz での使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。

- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

よくあるご質問

「ヒント/困ったときは」機能のご紹介
ホーム画面の「ヒント/困ったときは」を選ぶと、
本機の便利な使い方やよくあるご質問が表示されます。(→23)

本体・リモコン

本機のリモコンでテレビを操作したい

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの
[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +, -]、
[消音] でテレビを操作できます。

また、[テレビ操作] を押してボタンを点灯させると、他の
ボタンでもテレビを操作できるようになります。

[ホーム] ボタン → 「設定」 → 「機器設定」 →
「リモコン設定」 → 「リモコンのテレビ操作設定」 →
画面に従って設定する

■メーカー番号を入力して設定する場合

「リモコンのテレビ操作設定」(→ 上記) を行っても正しく
動作しない場合、以下の操作で設定してみてください。

[戻る] を押しながら、[1] ~ [10] を使って、2桁のメー
カー番号(→ 下記) を入力してください。

例) 01 の場合 … [10] → [1] 10 の場合 … [1] → [10]
11 の場合 … [1] → [1] 12 の場合 … [1] → [2]

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01、10、22、24、30、31
アイワ	18
NEC	06、15
三洋	07、16
JVC/ビクター	14
シャープ	02、11、21、33
ソニー	03
TVS REGZA/東芝	04、27、32
パイオニア	13、28
日立	05、20、38
富士通ゼネラル	09
フナイ	19、29
三菱	08、12、25、35、36、37
LG	26
ハイセンス	34
TCL	39

番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、
テレビ操作できる番号に合わせてください。

設定が完了すると、[テレビ操作] が 2 回点滅します。

- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作
してください。
- テレビ側でリモコンモードを変更している場合、本機のリモ
コンでは操作できないことがあります。

リモコンを使うと他機器が同時に動作する のを防ぎたい

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどが
あるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外
の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リ
モコン設定を変えてください。

リモコンモードに影響する機器と違うモードに変更すると
誤動作を防ぎます。

[ホーム] ボタン → 「設定」 → 「機器設定」 →
「リモコン設定」 → 「リモコンモード」 →
画面に従って設定する

本体表示窓に時刻を表示させたい

電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、
設定を①~③にしてください。

- ①「クイックスタート設定・本体時計表示」(→34) の
「クイックスタート」を「入」に設定
- ②「クイックスタート設定・本体時計表示」(→34) の
「クイックスタートモード」を「標準」に設定
- ③「ピエラリンク設定」(→34) の「ECO スタンバイ」
を「切」に設定

ただし、「節電待機」で電源を切ると、時刻は表示され
ません。

ネットワーク

ネットワーク設定をあとから行いたい

本機の設定設定終了後に、ネットワークの接続を行う場合
は、「ネットワーク設定」(→34) の「かんたんネットワ
ーク設定」を行ってください。

録画

番組の録画を止めたい

テレビ視聴中に録画中の予約録画を止めたい場合は、以下
の操作をしてください。

[■ 停止] ボタン → 「はい」

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャン
ネルを選んで操作してください。

録画モードを変更したい

- 放送中の番組を録画する場合

「放送中の番組を録画する」(→25 手順 3、4)

- 予約録画の場合

「番組表 (G ガイド) を使って予約録画する」

(→26 手順 2)

HDD 以外に録画がしたい

予約時の詳細設定で録画先を下記に設定する。

(→26 詳細設定をする)

- ディスクの場合: 「BD」
- USB-HDD の場合: 「USB-HDD」

こんな表示が出たら

表示文字	調べるところ・原因・対策
	<ul style="list-style-type: none"> ● オンエアダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などはダウンロードの進行状況です)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ● 停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)
 1～6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 ● 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押し続けたままにしてください。 ● 4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます)
※	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
※	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。 ● 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
※	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
※ ※ ※	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像出力のエラーが発生しています。 「テレビに本機の映像が映らない」(→18)をご覧ください。
※	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ● USB機器接続時に異常が発生しました。接続したUSB機器をいったん本機から外して、接続し直してください。
※	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
※	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機が正常に動作しません。本体の[お/入]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
※ ※ (数字の00は例です)	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常が発生しました。(“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります) ● 本体の[お/入]を3秒以上押し続けて電源を切ったあと、再び電源を入れてください。

本体表示窓

必要なとき

※ 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→裏表紙)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などお知らせください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!?’の内容は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)も併せてご覧ください。
(活用ガイド参照方法は → 表紙)

当社ホームページ (→2) も併せてご覧ください。

本機が熱い

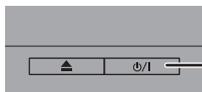
- 本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の左右および上部と背面にスペースを空けてください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音 (ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
 - 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 電源切 / 入時
 - ・ 番組表データを受信中
 - ・ ソフトウェア更新中
 - ・ 録画中
 - ・ 写真や動画を自動で保存中
 - ・ 予約録画終了時または午前 4 時ごろ (1 週間に 1 回程度) の、本機全体の自動再起動時
(本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています)
- など

本機の操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
 - ① 本体の [⏻/⏪] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約 3 秒間押したままにするとう強制的に切れます。



[⏻/⏪] を
3秒以上押す

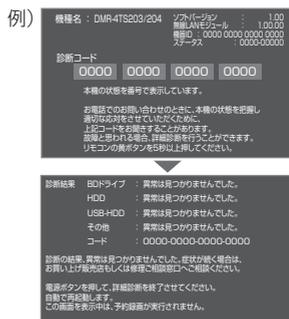
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む)

- ② 本体の [⏻/⏪] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
- 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、機器の状態を診断することができます。

- [ホーム] ボタンを押し、「設定」→「機器設定」→「診断コード」→ [黄] ボタンを 5 秒以上押しして詳細診断を行ってください。



- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

録画できない / 録画に失敗する / 再生できない / 操作できない / フリーズする

- 以下の場合、録画できません。本体表示窓の「録画」の「1」～「3」が点滅します。
 - ・ アンテナが抜けている、またはアンテナレベルが低い
 - ・ HDD の残量がない
- ディスクやUSB-HDDには【ワンタッチ予約録画 ●】を押しても、録画できません。予約録画のみ可能です。
- 本体機器を設定リセット (→35) にて初期化することで改善する場合があります。ただし、設定リセットを行うことで、お客様の個人情報 (メールやデータ放送のポイントなど) や予約内容も消去されますので、ご注意ください。

予約をしていない番組が録画される

- 「おまかせ録画」(→活用ガイド「自動予約する→おまかせ録画する」) や 「お録りおき録画」(→活用ガイド「自動予約する→お録りおき番組を自動で予約録画する」) の設定をしていると、本機は自動的に番組の録画をします。

映像が映らない

- アンテナケーブルの接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(➔10～19)
- HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度電源を入れてください。
- 本体の [⏻] を 3 秒以上押して、一度リセットしてください。
- 「かんたん設置設定」(➔34) を実行して、チャンネルを再スキャンしてください。
- 「テレビに本機の映像が映らない」(➔18) をご覧ください。

テレビ放送の映りが悪い / 不安定になる

- アンテナレベルが不足している場合があります。「放送受信設定」(➔34) にある、「受信アンテナ設定」内のアンテナレベルを確認してください。
 - ・ 地上デジタル：44 以上が目安
 - ・ 衛星：54 以上が目安
- 「テレビ放送が映らない / 映りが悪い」(➔18) をご覧ください。

110 度 CS4K 放送や一部の BS4K 放送が映らない

- 受信するためには、SH マーク対応の BS・CS デジタルアンテナが必要です。(➔10)
- 接続方法をご確認ください。(➔14、15)
- あとから対応アンテナを設置した場合は、再度「かんたん設置設定」を行ってください。(➔34)

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - ① 本体の [⏻] を 3 秒以上押す
 - ・ 本体の電源が切れます。
 - ② [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
 - ・ 本体表示窓に “OO RET” が表示されます。
 - ③ 本体表示窓に “O6 FTO” が表示されるまで [▶] (リモコンの右ボタン) を押す
 - ④ [決定] を押すディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約 30 秒)
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください) ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

リモコンが動かない

- 本体表示窓に「U30」が表示される場合、本体とリモコンのリモコンモードが異なっています。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がでてくる場合があります。



表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定] を 3 秒以上押しただまにしてください。

- リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。
 - ・ [テレビ操作] が点灯していますか。
 - ・ テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がでてくる場合があります。(➔42)

USB 機器が認識しない

- USB 機器が正しく認識しない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 機器を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。

地上デジタル放送の特定のチャンネルが映らない

- 「受信チャンネルを修正する」で「初期スキャン」の受信帯域を「全帯域」にして実行してください。(➔35)

「このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。(* * * *)」の表示が出て番組を視聴できない

- (* * * *) の表示が (A103) または (8901) の場合は、ご視聴の放送事業者にお問い合わせください。
- (* * * *) の表示が (A103) または (8901) 以外の場合は、本体の [⏻] を 3 秒以上押して、一度リセットしてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 26 W

待機時(クイックスタート「切」/節電待機「モード 2」)：

時計表示消灯時：約 0.15 W^{*1*}

待機時(クイックスタート「入」省エネ)：

時計表示消灯時：約 9.0 W^{*1}

待機時(クイックスタート「入」標準)：

時計表示点灯時：約 11.0 W^{*1*}

※1・地上デジタルアッテネーター：「入」
 ・BS・110度CSデジタル放送アンテナ電源：「切」
 ・BS・110度CSデジタル放送アンテナ出力：「切」
 ・外部接続端子(LAN、USB)／無線LAN：未接続
 ※2・節電待機「モード 1」の数値は、お客様の設定により変わります。

※3・HDMI出力解像度：1080i
 待機時(電源「切」時)でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力量

(表示値はJEITA基準による算出式を基に算出した参考値です)

23.6 kWh/年

ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分/省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。

■本体

寸法：

幅 430 mm × 高さ 49 mm × 奥行き 179 mm
 (突起部含まず)

幅 430 mm × 高さ 49 mm × 奥行き 189 mm
 (突起部含む)

質量：

約 2.2 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10%～80% RH (結露なきこと)

■記録できる最大番組数(使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

- **HDD**：10000 (スマホ転送番組を含む)
- **BD-RE**^{*4} **BD-R**^{*4} **-R AVCREC**：200
- **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V**：99
- **USB-HDD** (録画用フォーマット)：10000 (撮影ビデオは記録できません)
- **USB-HDD** (SeeQVault フォーマット)：10000
 ※4 25 GB、50 GB、100 GB、128 GB 共通

■録画モードと記録時間の目安(4K画質)

ディスク 録画モード			内蔵HDD (2 TB)	BD-RE、BD-R			
				128 GB (片面4層)	100 GB (片面3層)	50 GB (片面2層)	25 GB (片面1層)
放送 画質	4KDR	BS/CS 4K	約 130 時間	約 8 時間	約 6 時間 10 分	約 3 時間	約 1 時間 30 分
		4K 放送 (≤33 Mbps)					
		4K 1.5 倍録	約 195 時間	約 12 時間	約 9 時間 15 分	約 4 時間 30 分	約 2 時間 15 分
4K 画質	4K	2 倍録	約 260 時間	約 16 時間	約 12 時間 20 分	約 6 時間	約 3 時間
		4 倍録	約 520 時間	約 32 時間	約 24 時間 40 分	約 12 時間	約 6 時間

「仕様」の詳細は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をご覧ください。(活用ガイド参照方法は → 表紙)

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Brands LLC および / またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Xperi Inc. および / またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Xperi Inc. およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。G ガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。G ガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- “Master Grade Video Coding” の文字およびロゴはパナソニックホールディングス株式会社の登録商標です。「マスターグレード \Master Grade」は㈱バンダイの登録商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>.
Manufactured under license from DTS, Inc. or DTS Licensing Limited. DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries.
© 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア (株) のモバイル Wnn を使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd.
1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社の Inspirium 音声合成ライブラリを使用しています。Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2024
- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンスシング株式会社の商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”、“WPA3™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- FLAC のソフトウェアライセンス文は、[ホーム] ボタンを押し、「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→ [青] ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- SeeQVault および SeeQVault ロゴは NSM Initiatives LLC の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされていません。
(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされていません。
(i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して (以下、VC-1 ビデオ) 記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[ホーム] ボタンを押し、「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→ [青] ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation.
Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

著作権など (続き)

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー (ダビング) が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能 (かな漢字変換や番組の検索等を含む) の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は 2024 年 9 月現在のデジタル放送規格の運用条件 (著作権保護内容) に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン / 見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン / 見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン / 見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因しまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン / 見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン / 見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

- 「位置参照情報ダウンロードサービス」(国土交通省)
(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/agreement.html>)
を加工して作成



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
<https://panasonic.net/cns/oss/>

- (1) MS/PlayReady/Final Product Labeling
This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
- (2) MS/PlayReady/End User Notices
Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

ソフトウェア更新に関する重要なお知らせ

①当社は、ブルーレイディスクレコーダーに内蔵のソフトウェアを、バグ等の修正、機能改善、機能追加、セキュリティ機能の強化などを目的に更新いたします。当該更新により、利用者が使用されるブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの機能の追加、削除等の変更が行われる場合があります。②また、当該更新は当社の判断により行われ、その適用をブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの継続的な使用の条件とすることがあります。なお、内蔵ソフトウェアの更新にともない、利用規約の条件を追加、修正、削除する等一部変更する可能性があります。いずれの場合も表示部上またはサポートサイト（<https://panasonic.jp/support/av/diga601/>）上に事前に周知されます。③当社は、法律により許容される範囲において、内蔵ソフトウェアの更新に関して、故意または過失により生じた場合を除き、利用者に対して一切の責任を負うものではありません。ソフトウェアの更新を希望しないお客様は、設定よりソフトウェアを更新しない設定でお使いください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日
ACAS番号	

- ※ ACAS 番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。
ACAS 番号を確認するには (→11)
- ※ ACAS チップが故障した場合には、部品交換修理になり、ACAS 番号が変わります。
その際には、ご契約先の NHK や有料放送に変更連絡してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?’ (→44) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名 ブルーレイディスクレコーダー
- 品番 DMR-4TS204
- 故障の状況できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の「DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口」、「修理に関するご相談窓口」にご連絡ください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。(→44)

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます

QRコード
SAMPLE



お問い合わせについて

まずは、本書の「故障かな!？」(→44)をご確認ください。

解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



DIGA (ディーガ)・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



パナは キュウハチニ

0120-878-982

受付時間
9:00～18:00 月～土曜日
(祝日・正月三日が日を除く)

- 上記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**

- FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談窓口



パナは イイヨ

0120-878-554

- 上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。

(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

本機の使用で、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容 (データ) の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。

This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024

TQBS0535

F0924KY0